

若者の水難救済 ボランティア教室

「若者の水難救済ボランティア教室」は、水難救済会の活動が海事関係者的一部の限られた方々にしか知られておらず、若い人達にはほとんど知れられない現状に鑑み、これをできるだけ多くの若い人達に知つていただき、水難救済会の活性化、若返りにつなげようとの願いをこめて行われているのです。

そのため、小、中学生等の若者に対して、まず海に親しむ機会を与え、実地体験を通して救命技術を習得させることにより、海での安全意識の向上を図ると併に、水難救済会の活動の紹介を通して、水難救済ボランタリー思想の普及啓蒙を行っています。

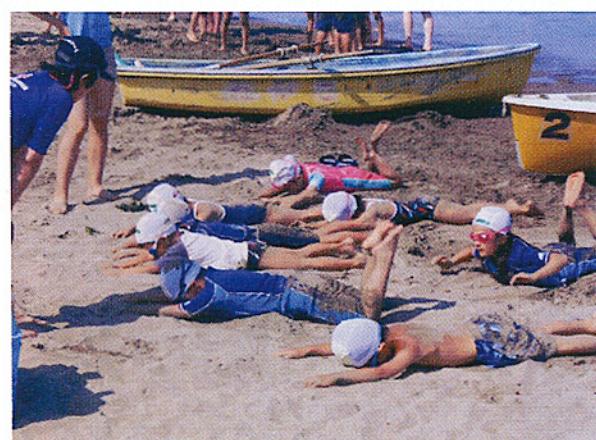
平成十三年度から始めたこの事業は、今年度で七年目を迎えました。教室への参加者は数は父母や教師等も含めて例年五千名程度ですから、すでに三万人超の方々が受講

したことになります。全国の若者の数からすれば、まだごく僅かですが、参加者から頂いている感想文には、自分の命だけでなく他人の命の大切さが分かつたこと、事故に遭遇したら、勇気をもつて教室で習ったことを活かして、人命救助に役立ちたい、といったような前向きな感想が寄せられています。

若い時に感動した体験は、大人になつても心に残っていることがあるということは誰にでも経験があると思いますが、青少年の心にいつまでも残るような体験をさせてあげられたら、すばらしいと思います。

教室で取り上げられている講習の内容で多いものを順に幾つか紹介しますと、海浜事故の発生状況と事故防止、心肺蘇生法、水難救済会ボランティア活動の紹介、海浜事故の救助方法、ペットボトル等身近な物を使った救助法、救命胴衣の付け方、着衣泳法、沿岸流（離岸流）の話、体験航海、救助の体験談、等となっています。

以下に、平成十八年八月以降に開かれた教室のうちいくつかを紹介します。



新潟県水難救済会
(関屋海水浴場で呼吸と手足の動作の練習)

新潟県水難救済会では、平成十八年八月六日、B & S 新潟海洋クラブから講師を招き、新潟市の関屋海水浴場で五才～十二才の児童を対象に、水難事故防止のための泳ぎ方、遠泳、人工呼吸、溺者曳泳法、溺者搬送などを内容とした教室を開きました。

児童二十三名が参加し、五時間の遠泳ではなんと十七名もの児童が完泳しました。

子供達が講習を受けている間、同伴した父母に、日赤の指導員から約一時間にわたりハンカチなどを利用した傷の応急手当に

ついて講習が行われました。

秋田県水難救済会

では、平成十八年九月二十二日、秋田海上保安部の協力を得て、湯沢市立雄勝中学校二年生八〇名を対象に、巡視船「しんざん」の係留岸壁で、職場体験学習に併せて教室を開催し、水難救済会の活動の紹介や青い羽根募金の広報、ロープワーク、ペットボトルを使用した救助の講習を行いました。



秋田県水難救済会（湯沢市立雄勝中学校）

教師七名に引率された生徒達は、講師の説明に熱心に耳を傾け、何度も結び方を練習したり、ペットボトルを使用した救助では、海中にいる海上保安官に向かってロープの入っているペットボトルを投げて救助する練習に真剣に取り組んでいました。

鹿児島県水難救済会

では、平成十八年八月四日、第十管区海上保安本部、喜入海上保安署、巡視船「さつま」から講師を招いて、国立大隅少年自然の家が主催する「海からのメッセージ」の一コマとして教室を開催しました。

参加した小学高学年生、中学生、高校生及びボランティアスタッフ達は、心肺蘇生法や負傷者の搬送法、毛布を使つた保温法、水の事故防止などの講習に真剣に取り組んでいました。

参加者から「身近で事故が起こつたら役立てたい。」とか「海での事故に気をつけたい。」との意見が多くなことから、今後とも継続して実施したい。

和歌山県水難救済会

では、平成十八年八月十九日、和歌山市毛見マリーナで行われたドラゴンボートの練習会に併せて、教室を開催しました。

中学生約二八〇名と教職員、保護者も参加して、講師の和歌山海上保安部職員から自己救命策の確保、離岸流の危険性と対処法、救命胴衣装着法、救命器具の紹介及び取扱、ロープワーク、海中に転落したときの対処方法などについて講習を受けました。



鹿児島県水難救済会（国立大隅少年自然の家）

愛知県水難救済会では、平成十八年八月二十六・二十七日、衣浦救難所において過去にボランティア教室等を受講した高校生、大学生を主体に教室を開催しました。

衣浦救難所長及び所員、衣浦海上保安署の海上保安官が講師となつて、水上オートバイの点検及び操船、漂流船位置測定法、溺者救助法、水上オートバイによる救助法、船舶による救助法を学んだ他、夜間航行体験乗船やバーベキューによる夕食会などを



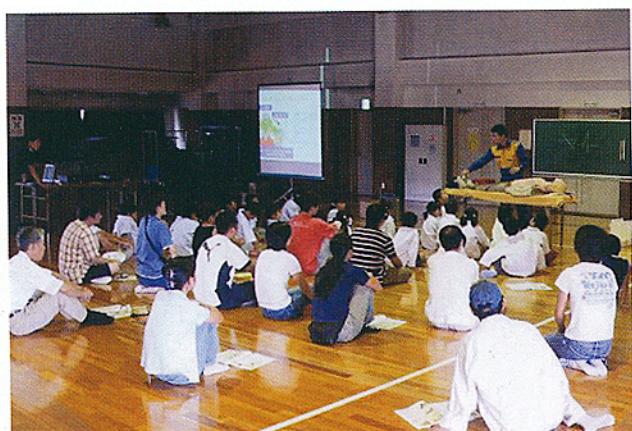
和歌山県水難救済会
(和歌山市毛見マリーナシティー内)

楽しく行いました。



愛知県水難救済会衣浦救難所

今回の教室は、今まで行つた教室の成果を確認する意味も込めて開催したものですが、海に興味を持ち、ボランティア精神も培われていることを参加者達から感じ、将来の水難救済会救助員としての期待がもつました。



千葉県水難救済会（船橋市浜町公民館）

千葉県水難救済会では、平成十八年九月十日、千葉海上保安部から講師を招いて、船橋市浜町公民館において近隣の小中学生や海洋少年団員を対象に教室を開きました。参加者は、水難救済会の紹介、海上保安業務の紹介を受け、海についてのビデオを鑑賞し、事故に遭つた人を見かけたときの対処などの話を聞き、心肺蘇生法を父母と一緒に実地に体験しました。